

建築科 伝統建築班 組子細工講習 第二回目

本校建築科3年生の課題研究の授業では伝統建築に関する調査、研究をする班があります。伝統建築に関する課題点を探り、解決するために3年間学習してきた建築の知識・技術を生かした活動をしています。

前回に続き、「現代の名工」である藤原正さんを講師にお招きし、日本の伝統技法である組子細工について学び、組子細工で構成された「ミニ障子」を完成させました。

最後に藤原さんから「壁にぶつかることや、挫折することもあると思うが、それは挑戦している証拠。諦めずに続けることが大事。」とお言葉をいただきました。



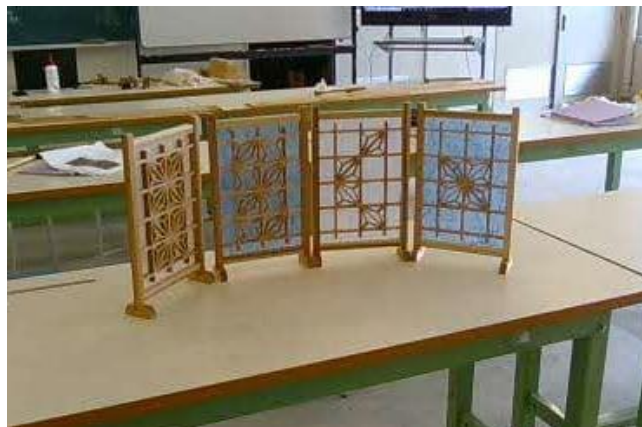
和紙の貼り方の指導の様子



加工技術の指導の様子



作品の出来について話している様子



完成品

～生徒感想～

「伝統建築について学んでいるが、日本には、素晴らしい伝統的な技法も多くあると気づけました。」

「組子細工の奥深さを知ることができました。」

「進路選択を考えている中で、進路を決定する為の重要な話をたくさん聞けました。」

「職人の技術のすごさを感じました。自分も職人として技術を高めたいと思いました。」